

哀 悼



総会案内の返信ハガキなどにより、次の方たちのご逝去の連絡がありましたので、ご報告いたします。

心よりご冥福をお祈りいたします。

| ご逝去者 | 卒年科 | ご逝去日 | ご逝去者 | 卒年科 | ご逝去日 |
|--------|-----------|-------------|-------|-----------|------------|
| 成田 巖 | 昭和24年電気科卒 | 2022年4月 | 生駒 茂 | 昭和33年土木科卒 | 2022年7月23日 |
| 澤木 誠一 | 昭和26年電気科卒 | 2022年12月25日 | 伊藤 武 | 昭和36年電気科卒 | 2023年2月12日 |
| 南波 毅 | 昭和27年機械科卒 | 2021年 | 島崎 晴夫 | 昭和40年機械科卒 | |
| 多賀谷 励治 | 昭和29年電気科卒 | 2021年 | 佐川 民雄 | 昭和42年冶金科卒 | 2022年4月16日 |
| 今野 侃 | 昭和30年機械科卒 | 2015年 | 柳田 憲夫 | 昭和43年採鉱科卒 | 2022年8月27日 |
| 大窪 良昌 | 昭和30年建築科卒 | 2002年8月 | 椎名 哲 | 昭和45年建築科卒 | 2021年5月 |
| 武田 兼弘 | 昭和31年採鉱科卒 | 2008年1月30日 | 佐藤 秀司 | 昭和52年建築科卒 | 2022年3月12日 |
| 鈴木 洋介 | 昭和32年電気科卒 | 2022年 | | | |

編集後記

秋生生の吹奏楽部に在籍していた時に、ムソルグスキー作曲の「展覧会の絵」から「キエフの大門」を演奏したことがある。この時にキエフの大門とはどこにあるのか分からなかったが、ロシアのウクライナ侵攻でキエフの大門はウクライナにあることが分かった。しかしこの侵攻でキエフがウクライナ語でキーウであり、今後キーウと呼ばれるとのこと。では展覧会の絵のキエフの大門は、「キーウの大門」となるだろうが、長らく慣れ親しんだキエフの大門が使用できないのがしっくりこないがしょうがない。

所で東京秋工会は年々平均年齢が上がり、若い会員の参加が待望されている。そこで編集長である筆者は、～60代以下の若手会員に寄稿を依頼してみたら、4名の賛同者が挙手をしてきて今回の会報に「会員便り」に掲載できた。文面を拝読すると、若々しいフレッシュな感を受けるのは私だけではないだろう。会報KANASAの読者をお願いしたいのは、若い会員の参画と掘り出しを後押しして頂き、東京秋工会の明るい未来を構築して行きましょう。

編集長 嵯峨 良平 (S43E)

近年、ChatGPTなどの会話型AIがマスコミでも大きく取り上げられている。2016年、韓国の世界トップ囲碁棋士李世ドル九段がGoogleのAlphaGoに敗れた際の衝撃と同様に、人々はAIの知能が人間を超越していく速さに戸惑いを覚えた。識者たちは、AIが単なる人間の模倣ではなく、独自の思考を持っていると主張する一方で、その真偽には疑問の声も上がっている。しかし、Deep learningという手法によって、コンピュータは自己学習を通じて知識を蓄積し、人間の想像を超えた思考を可能にする日も近いのではないかと考えられている。

とりあえず現段階で使用してみよう。わざと誤った文章の校正をやらせてみる。AIに仕事をさせるにはプロンプトという命令を出す。

・プロンプト：次の文章を校正してください

薬師池公園の「しょうぶ・あじさいまつり」と2023年6月1日(木)～30日(金)らしい。今年は、マスクを付けていない花摘み娘の写真が撮れかと期待しい。花しょうぶはちらほら咲き始めた。池の水は植物生の藻かなにの緑に周囲の木々の緑が映り込んでより緑の印象が強い気がする。

・ChatGPTの回答

以下に修正案を示します：

「薬師池公園の「しょうぶ・あじさいまつり」が、2023年6月1日(木)から30日(金)まで開催されるようです。今年は、マスクを着けていない花摘み娘の写真が撮れることを期待しています。花しょうぶはちらほら咲き始めています。池の水面には植物の藻や周囲の木々の緑が映り込み、より一層緑の印象が強く感じられます。」

修正内容：

1. 「らしい」を「ようです」に修正し、丁寧な表現にしました。
2. 「マスクを付けていない」を「マスクを着けていない」に修正し、正しい文法にしました。
3. 「写真が撮れかと期待しい」を「写真が撮れることを期待しています」と修正し、意図が明確になるようにしました。
4. 「花しょうぶはちらほら咲き始めた」を「花しょうぶはちらほら咲き始めています」と修正し、適切な文法にしました。
5. 「池の水は植物生の藻かなにの緑に周囲の木々の緑が映り込んでより緑の印象が強い気がする」を「池の水面には植物の藻や周囲の木々の緑が映り込み、より一層緑の印象が強く感じられます」と修正し、意味が明確になるようにしました。

次第に視力も落ち、判断力の鈍化を自覚してきた。記事を書くにも校正するにもAIは利用できる。

MicroSoftによるとChatGPTの機能をwordやexcelに組み込むという。

今後は活用しようと思うが、できる限り筆者の個性を尊重し、誤字や脱字の修正範囲に留めたい。

副編集長 赤川 均 (S41E)

再来年で70。未だ現役。この歳まで付き合ってくれているお得意さんの仕事は多少無理な日程でも頼まれればだいたいにおいて断ら(断れ)ない。で、そんなこんながいろいろあって、今回の会報制作はいつも増して、きついきつい・・・になってしまいました(汗)。

副編集長 船木 一美 (S48M)